



News Release

2025 年 4 月 23 日

この資料は BASF 本社(ドイツ)が 2025 年 3 月 26 日に発表した英語のプレスリリースを BASF ジャパンが日本語に翻訳・編集したものです。

BASF とフォレスタル社、OASE®技術による先進的 e-メタノール製造で提携

■ BASF の CO₂ 回収技術 OASE®、フォレスタルの e-メタノール製造に活用

■ フォレスタルの Triskelion プロジェクト、日産 156トンの e-メタノールを製造

BASF(本社:ドイツ ルートヴィッヒスハーフェン)と Forestal de Atlántico S.A.(フォレスタル・デル・アトランティコ、以下フォレスタル、本社:スペイン ムガルドス)は、二酸化炭素(CO₂)回収ソリューションによる e-メタノール(eMeOH)の製造を目的とした早期開示契約(EDA)を締結しました。この戦略的提携により、BASF は燃焼排ガスから効率的に CO₂ を分離回収する独自の OASE®(オーエイス®) blue 技術を、フォレスタルがスペイン・ガリシア州で進める先進的な Triskelion プロジェクトに提供します。本プロジェクトは e-メタノールを 1 日あたり 156トン製造する画期的プロジェクトです。発電タービンの排気ガスから回収した CO₂ を、再生可能な水素と反応させて e-メタノールに変換するため、持続可能な燃料製造の革新的アプローチを体現しています。

BASF は今回の EDA によって、フォレスタルの外部委託業者が開発する基本設計(FEED)において、必要不可欠な情報を提供できるようになります。一方、フォレスタルはプロジェクトの透明性、理念、技術的・経済的な実現性を評価して、設計を他の外部業者とも共有したうえで建設の競争入札を行うことが可能になります。

お問い合わせ:
BASF ジャパン株式会社
コミュニケーションズ部
communications-jp@basf.com

BASF ジャパン株式会社
住所: 〒103-0022
東京都中央区日本橋室町 3-4-4
OVOL 日本橋ビル 3 階
<https://www.basf.com/jp>

BASF は OASE[®]ポートフォリオを通じて、ガス精製技術の分野で確固たる地位を築いており、その技術は世界の 500 以上の工場で使用されています。また、BASF は FEED 実施に向けた全段階でサポートを提供します。フォレスタルは e-メタノール合成に利用するため、発電タービンの排気ガスから CO₂を効率的に分離回収する技術として OASE[®] blueを採用しました。

BASF の化学品中間体事業部の OASE[®] ガス精製事業グローバル ビジネス ディレクターであるトルステン・カツツは次のように述べています。「今回の提携は、CO₂ の回収と利用 (CCU: Carbon Capture and Utilization) における解決策のニーズに対応し、世界的な排出量削減に向けた大きな一歩となります。フォレスタルとの提携により、当社の OASE[®] blue を活用して e-メタノールを製造する初プラントの一つとしての基盤を築き、OASE[®] 技術の革新的かつ持続可能な応用分野に参入します。」

フォレスタルの CEO であるアンドレス・フエンテス氏は次のように述べています。「当社の製造工程から回収された CO₂ を利用することで、燃料製造においてより持続可能な手法を取り入れることとなります。BASF との提携は、当社の能力を強化するだけでなく、特に海運業界におけるサステナブルな燃料の開発に貢献します。」

Triskelion プロジェクトは、BASF の OASE[®] blue 技術を活用した e-メタノールの先駆的な製造施設となります。e-メタノールは、持続可能なメタノールの供給源であり、回収 CO₂ の有効利用における重要ステップと見なされています。e-メタノールは、国際海運を含む産業輸送のための持続可能な代替燃料となるほか、さまざまな化学合成プロセスの原料としても利用できます。

※リリースの内容および解釈については英語のオリジナルが優先されます。

■Forestal de Atlántico 社について

スペインのガリシア州を拠点とし、1987 年に設立された Forestal de Atlántico 社は、接着剤や樹脂の持続可能な製造、液体バルク貯蔵ターミナル、コージェネレーションプラントでのエネルギー生成、マルポール条約に基づく廃棄物タイプ A、B、C の環境管理、固体バルク港、化学およびエネルギー部門向けの液体バルク物流サービスなど、さまざまな事業を展開しています。当社は 200 名を超える従業員を擁する多角的な産業コンプレックスであり、283,000 m³の貯蔵能力と 50,000 m²の港湾を有しています。また、当社は 30 年以上にわた

り、製造プロセスでも使用している化石燃料ベースのメタノールの供給を手がけています。Triskelion プロジェクトでは、EU イノベーション基金から 4900 万ユーロの助成金を受けています。詳しい情報は www.tklmethanol.es をご覧ください。

■OASE®について

ガス精製技術において 50 年以上の経験を備える BASF は、天然ガス、合成ガス、燃焼排ガス、バイオガスなど、幅広い用途に向けた効果的なガス精製ソリューションを提供しています。当社の技術は、世界中の約 500 の設備で採用され、その性能が実証されています。優れたガス精製技術である OASE®ブランドのもと、さまざまなガス精製技術や使用される溶剤、デジタルプラットフォームである OASE® connect を含む技術サービスパッケージを提供しています。OASE®製品はバリューチェーンにおけるサステナビリティに大きく貢献するシステムソリューションの一部です。OASE®は、従来の技術に比べてガス精製の効率が非常に高く、資源の保全、省エネルギーによる排出量の削減に大きく貢献します。詳しい情報は <https://www.oase.basf.com>（英語）<https://www.basf.com/jp/ja/products/product-list/intermediates/gas-treatment.html>（日本語）をご覧ください。

■BASF について

BASF（ビーエーエスエフ）は、ドイツ ルートヴィッヒスハーフェンに本社を置く総合化学会社です。私たちは、持続可能な将来のために化学でいい関係をつくることを企業目的とし、経済的な成功とともに環境保護と社会的責任を追及しています。また、お客様のグリーントランスフォーメーションを可能にする、選ばれる化学会社になるという意欲的な目標を掲げています。全世界で約 112,000 人の社員を有し、世界中のほぼすべての産業に関わるお客様に貢献しています。ポートフォリオは、コア事業の事業セグメント（ケミカル、マテリアル、インダストリアル・ソリューション、ニュートリション & ケア）、スタンドアロン事業の事業セグメント（サーフェステクノロジー、アグロソリューション）から成ります。2024 年の BASF の売上高は 653 億ユーロでした。BASF 株式はフランクフルト証券取引所（BAS）に上場しているほか、米国預託証券（BASFY）として取引されています。BASF の詳しい情報は <https://www.basf.com/global/en.html> をご覧ください。